

新婦側

使者から、ふろしきをとり、ふくさをかけた状態の広蓋がさし出されます。このとき、ふくさの紋は、新婦側に対し正面になっています。

新婦側は、目録、家族書、親族書、ならびに小袖料、清酒料、松魚料をあらため、別室で広蓋からこれらを出します。その新婦側の広蓋に、受書、お多芽、多芽紙をのせ、ふくさも新郎側のものをかけて使者にわたします。家族書、親族書を交換する場合は、これらも広蓋にそえてください。

荷出しの場合

広蓋に荷物目録セットと鍵箱をのせ、家紋入りふくさをかけます。これを家紋入りふろしきで包み、新郎側へ持参します。新郎側では、新婦側が持参した広蓋に、荷物受書セットをのせ、ふくさも新婦側が持参したものをかけたうえで、使者にわたします。



結婚御祝の場合

お祝を届ける場合は、正式には結納の目録をおわたしする場合と同じです。簡略の場合は、お祝の金封を切手盆にのせ、その上にふくさをかけて、ふろしきで包み届けます。

花嫁御挨拶回りの場合

この場合に用いられる紋は、お嫁入り用（女紋）です。万寿盆に、のし紙・水引きをかけた品物をのせ、その上に紋入りふくさをかけ、紋入りふろしきで包みます。



〈写真は新婦側の場面です。〉



丸に違ひ鷹の羽



丸に梅鉢



丸に片喰



丸に隅立四つ目



丸に三つ柏



丸に五三の桐



丸に薫



丸に桔梗



丸に剣片喰



寿



五三の桐



寿



丸に横木瓜



丸に抱き茗荷



丸に橘

定紋表一覧

ふろしき、ふくさには、15種の家紋（定紋）をご用意しております。お家用は丸付き、お嫁入り用は丸無しが一般的です。

※お家用のカラーには、紺または松葉色（上生地のみ）を、お嫁入り用には朱色をご用意しております。